

と なみ
砺波市の埋蔵文化財を
楽しく学んでいただくために

子どもにもわかりやすい展示

遺物を並べるだけでは、その意味を理解することはできません。そこで、子どもにも親しみをもってもらえるようイラスト入りの展示パネルやすごろくゲームをつくりました。また、解説文はシンプルな文章となるよう心がけました。

いろいろな体験ができる

研修室(いやま)では組紐作りやペーパークラフト制作などが体験できます。今後土器パズルや火起こし、勾玉作りなどの体験メニューを順次追加していきます。

学校の課外授業、 放課後児童教室の受入れ

個人や団体向けにガイド付きの展示見学などのメニューをつくります。また、敷地内にある放課後児童教室との連携を図ります。

国内外への情報発信

砺波市では、インターネット上にデジタルミュージアム「砺波正倉」と なみしよそうを開設しています。発掘調査報告書などの考古学情報をはじめ、市内の歴史文化資源についてのデータを集約し、公開しています。

砺波正倉 <http://1073shoso.jp/www/index.jsp>

利用あない

- 開館時間 AM9:00~PM5:00
- 休館日 毎週月曜日、毎月第3日曜日、国民の祝日
(国民の祝日が月曜日に当たるときは、その翌日となります。)
年末年始(12月29日~1月3日)
- 入館無料 [団体見学は事前にお申込みください]
- 交通のごあない
北陸自動車道 高岡砺波スマートICから車で5分
JR砺波駅からバスで20分



砺波市埋蔵文化財センター

とくまんらんしよ
砺波市埋蔵文化財センターのロゴは、徳万類成遺跡で出土した土偶をモチーフにデザインしています。

愛称「しるし」

と なみのおみ しるし
奈良時代に活躍した砺波の豪族・利波臣志留志にちなみ、施設の愛称を「しるし」と名付けました。砺波平野を開拓し、東大寺に多くの米を送った稀代のシンデレラボーイである志留志のように発展してほしいとの願いも込められています。

砺波市埋蔵文化財センター しるし

Tonami Archaeology Center SHIRUSHI

〒939-1431 富山県砺波市頼成566(庄東小学校敷地内)

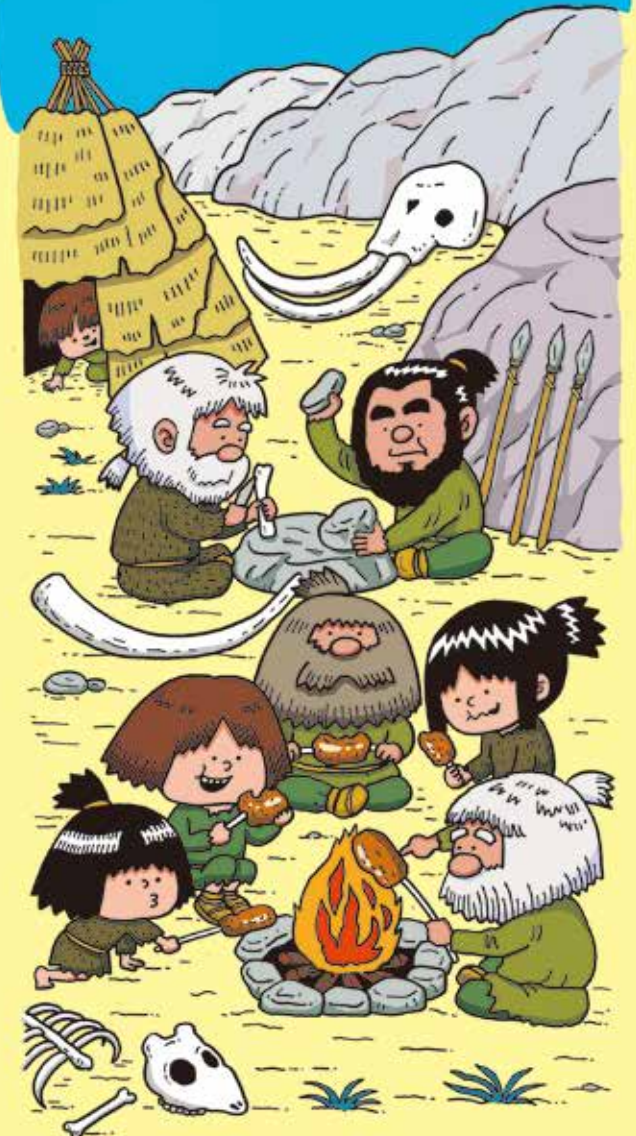
TEL&FAX(0763)37-1303

Tonami Archaeology Center SHIRUSHI

砺波市埋蔵文化財センター

しるし

むかし×いま=みらい。



砺波市埋蔵文化財センター

TONAMI ARCHAEOLOGICAL CENTER

と な み
**ここは、砺波の先人がのこした
 「モノ」と「メッセージ」に
 出会えるミュージアムです。**

はるか2万年前からはじまる砺波市の歴史。

縄文時代には台地や低地に集落がつかられ、土偶に祈りをささげるなど精神的に豊かな生活を送りました。

奈良時代からは平野の開拓が進み、東大寺の大仏をつくる
と な み の お み し る し
 ときに砺波の豪族 利波臣志留志は多くの米を都に送っています。そのことがきっかけで砺波郡には東大寺の荘園が4つもつくられますが、平安時代には衰退しました。

鎌倉時代になると般若野荘と油田条という2つの大きな
はんにゃのしよつ あがらでんのじょう
 荘園がつかられます。荘園を見下ろす丘陵地には増山城跡などの城が築かれ、争乱の時代を迎えました。遺跡からの出土品はそれぞれの時代の証人ともいえます。

砺波市埋蔵文化財センターは、子どもたちをはじめ、幅広い年代の人々が、

- 1 展示をとおして考古資料にふれながら
 - 2 砺波市の歴史と先人の英知をまなび
 - 3 体験や遊びをつうじて埋蔵文化財に親しむ
- ことにつなげるミュージアムをめざしています。

**砺波市埋蔵
 文化財センターは
 こんなところ**



- 1 こども向けのわかりやすい展示
- 2 いろんな体験や遊びができる
- 3 荘園の推定地に建っている
- 4 発掘調査の土層断面を模した外観
- 5 民具展示室とセットで市内の文化財の拠点化

洗浄室
 出土遺物などを洗うためのスペースです。

いやま(研修室)
 体験はおもに研修室でおこないます。遺物整理室にもなります。

多目的トイレ
 ベビーシート、ベビーチェアなどを設置し、乳幼児連れの方に配慮しています。

外観
 遺跡の発掘調査で見かける土層の断面をイメージしています。

1F
 この建物は昭和57年建築の旧庄東小学校寄宿舎を平成26年に改修したものです。(平成27年4月開館)

展示室
 +
 作業室
 +
 収蔵庫

いしあわ(展示室2)

サブの展示室。展示室1とはガラス張りの間仕切りで隔てられています。遺物整理のときには見学可能な作業スペースとなります。展示ケースは作業用台になります。

いかるぎ(展示室1)

メインの展示室。砺波市を代表する考古資料を展示しています。展示ケースは可動タイプなので、企画ごとにレイアウトを自由に変えることができます。

ホール

黒板にはお知らせやメッセージなどを自由に書き込むことができます。

※いやま、いしあわ、いかるぎは、かつて砺波市内にあった東大寺の荘園の名前です。

■ 面積表

敷地面積	1704.97 (515.8)
建築面積	222.03 (67.2)
床面積	1階 222.03 (67.2)
	2階 191.38 (57.9)
合計	413.41 (125.1)

※単位は㎡、()内は坪数